

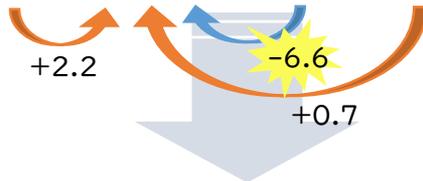
●スポーツの実施率⇒国と比べて低い

成人の週1回以上運動している割合は45.7% (R5) で、前回の43.5% (H30) に比べると増加傾向にあるが、国の平均の52.3%(R4)と比べると低い。

【週1回以上運動している割合】⇒国と比べて低い

▶週1回以上運動している割合は、前回の43.5% (H30) に比べると増加しているが、国の平均の52.3% (R4) と比べると低い。

市 (H30)	市 (R5)	国 (R4)	県
43.5%	45.7%	52.3%	45.0%



【週2日以上運動している割合】⇒国と比べて高い

▶週2回以上運動している割合でみると、男女ともに、国の平均と比べて高い。

	市	国
男性	47.9%	33.4%
女性	33.9%	25.1%

【年代別スポーツ実施率】⇒60代以上の実施率が高い

▶平均の45.7%を上回っているのは60代と70代である。

全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
45.7%	43.5%	34.6%	40.9%	34.4%	42.9%	49.0%	64.4%

※参考【介護認定率】▶認定率は年々低くなっている。

	H30	R1	R2	R3	R4
65～74歳	2.8%	2.5%	2.3%	2.4%	2.4%
75～84歳	14.2%	12.9%	12.2%	11.6%	11.5%
85歳以上	54.5%	52.8%	51.5%	51.1%	49.8%
全体	15.1%	14.5%	14.0%	13.8%	13.8%

次の5年間で達成すること

※ ◆の項目については、「4. 情報発信」の「次の5年間で達成すること」に関連あり

- ◆ 自分の健康状態に適した運動・スポーツに取り組める
- ◆ 市民が地区ごとに自宅から歩けるウォーキングコースを知っている
- ・ 健康意識が高まり、新たに運動を始める人が増えている

● 運動・スポーツのニーズ

⇒ 世代・性別により異なる

世代や性別によって運動・スポーツに関するニーズが異なる。

【種目のニーズ】 ⇒ 世代・性別により異なる

▶ 今後やってみたい種目で10%以上の回答を得た種目は、女性ではウォーキング、ヨガ・エアロビ、ダンス、男性ではウォーキング、10～30代ではヨガ・エアロビ、ダンス、バドミントン、40～50代ではウォーキング、ヨガ・エアロビ、60代以上ではウォーキングである。今後やってみたい種目としては、ウォーキング、ヨガ・エアロビ、ダンスなどの個人スポーツが多く、対人スポーツや団体スポーツを避ける傾向がある。

	現在行っている種目	今後やってみたい種目 (10%以上の回答を得られた種目)
10～30代	ウォーキング、マラソン・ジョギング、釣り、ゴルフ	ヨガ・エアロビ、ダンス、バドミントン
40～50代	ウォーキング、マラソン・ジョギング、ヨガ・エアロビ	ウォーキング、ヨガ・エアロビ
60代以上	ウォーキング、ゴルフ、登山	ウォーキング
男性	ウォーキング、ゴルフ、マラソン・ジョギング、釣り	ウォーキング
女性	ウォーキング、ヨガ・エアロビ、登山、マラソン・ジョギング	ウォーキング、ヨガ・エアロビ、ダンス

【運動を行う理由】 ⇒ 世代・性別により異なる

▶ 運動やスポーツを行う理由は、主に自分の身体的なことについてで、健康・体力づくり、楽しみ・気晴らし、運動不足解消等様々であり、世代によって異なる。女性では、運動不足解消、美容・ダイエット、男性では、心身の修行・鍛錬、友人仲間との交流の項目において性差が現れた。

	10～30代	40～50代	60代以上	男性	女性
健康・体力づくり	69.5%	77.0%	84.9%	81.5%	75.8%
楽しみ・気晴らし	70.0%	64.4%	57.5%	62.5%	65.8%
友人仲間との交流	30.5%	23.4%	39.4%	34.3%	28.4%
運動不足解消	54.3%	55.9%	59.1%	50.1%	63.2%
美容・ダイエット	35.2%	30.3%	8.5%	10.8%	35.8%
心身の修行・鍛錬	9.5%	8.4%	8.5%	13.2%	4.7%

【もっと運動を行う（始める）ための条件】 ⇒ 世代により異なる

▶ 経済面や自由に使える時間が増えることに関する回答が多い。10～50代においては、自ら時間を作ることができるか、60代以上では気軽に参加できるかがポイントと考えられる。

	10～30代	40～50代	60代以上
1	休暇が増えれば	休暇が増えれば	近くに運動・スポーツを行える施設や場所が整備されれば
2	近くに運動・スポーツを行える施設や場所が整備されれば	運動やスポーツにかかる費用が安くなれば	気軽に参加できる運動・スポーツ教室があれば
3	生活費に余裕ができれば	近くに運動・スポーツを行える施設や場所が整備されれば	一緒に活動する仲間ができれば

【団体加入率】 ⇒ 年代の高い方が高い

▶ 団体への加入率は、年代の高い方が低い方と比べて加入率が高い状態であった。

	10～30代	40～50代	60代以上
全体	7.4%	14.2%	20.9%
男性	8.0%	14.4%	17.3%
女性	7.2%	13.6%	25.9%

どうなれば加入する？

10～50代（外的要因が大きい）

時間やお金に余裕ができれば、気軽に参加できれば、日時や場所が合えば、育児・家事が軽減されれば、託児サービスがあれば

60代以上（内的要因が大きい）

勧誘があれば、体調が整えば、興味があれば、年齢的に難しい、活動したくない、できない

次の5年間で達成すること

※ ★の項目については、「3. スポーツ環境の整備」の「次の5年間で達成すること」に関連あり

- ★◆ 誰もが気軽に運動やスポーツに取り組める
- ★ 運動やスポーツの体験→練習→仲間づくりができる
- ★◆ 運動やスポーツを継続する人のために、その目標となる成果発表の場がある
- ★◆ 市民のニーズに合ったプログラムが提供されている
- ・ 障がいの有無にかかわらずスポーツに親しむことができる
- ・ 運動やスポーツの継続年数にかかわらず、運動・スポーツを通じて楽しさや喜びを実感し続けることができる

●子どもの体力向上・スポーツへの関心⇒年齢が上がるにつれて低下

肥満・痩身傾向児は増加傾向にある。また、小学5年生と中学2年生を比較すると運動の実施率、運動が好きと回答したものは減少しており、スポーツへの関心が低下している。

【児童生徒における痩身、肥満傾向児の割合】⇒標準体型児の減少

▶痩身・肥満傾向児の割合がともに増加傾向にある。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
痩身傾向児	1.6%	1.8%	2.3%
肥満傾向児	8.3%	7.3%	9.2%

【学校アンケート】⇒「運動頻度」「運動が好き」とともに減少

▶小学5年生と中学2年生を比較すると、「運動頻度」は減少、「運動が好き」と回答した者の割合も減少している。

	男子			女子		
	小5	中2		小5	中2	
運動部所属	67.6%	79.6%	12.0%	47.0%	59.0%	12.0%
運動頻度 (毎日、時々)	91.5%	88.5%	-3.0%	83.0%	72.0%	-11.0%
運動が好き (好き、やや好き)	95.2%	81.6%	-13.6%	88.4%	71.5%	-16.9%
運動が好き (好きのみ)	78.3%	51.2%	-27.1%	56.3%	35.4%	-20.9%

※参考【体力テスト総合得点】▶平成30年に比べて令和4年は、総合得点が低くなっている

		男子			女子				
		小5	中2		小5	中2			
R4	市	52.74	-2.79	41.53	-2.61	54.6	-1.3	51.52	-0.04
	県	52.55	-2.85	42.84	-0.73	54.23	-2.45	48.96	-2.17
	国	52.28	-1.82	41.04	-1.28	54.31	-1.98	47.42	-3.19
H30	市	55.53		44.14		55.9		51.56	
	県	55.4		43.57		56.68		51.13	
	国	54.21		42.32		56.08		50.61	

【運動を始めるきっかけづくりに重要なこと】⇒幼児期からの習慣化

▶運動を始めるきっかけづくりに重要なことでは、幼児期から外で遊ぶ習慣との回答が50%以上ある。

1	幼児時期から外で遊ぶことの習慣化	61.6%
2	保育園・幼稚園における運動やスポーツ	49.7%
3	小学校放課後の活動における運動やスポーツ機会の提供	49.2%

【習い事を始めるうえで重視すること】⇒金額・回数・時間帯・距離

▶習い事を始めるうえで重視することは、男性・女性・10~50代で、金額・回数・時間帯・距離に関する回答が50%を超えている。

		10~30代	40~50代	60代以上	男性	女性
		1	毎月の月謝などの金額	79.6%	73.7%	58.6%
2	1週間のうちの教室の回数や時間帯	61.6%	63.2%	40.1%	51.7%	55.6%
3	送迎の距離(送迎の必要の有無)	60.2%	56.4%	40.9%	53.3%	51.7%

※参考【習い事を始めるうえで困っていること】

1	教室がどこで実施されているかわからない	35.1%
2	やりたい(学びたい)競技(種目)の教室が宗像市内にない	12.3%
3	やりたい(学びたい)競技(種目)を行うための設備が整っていない	6.2%

次の5年間で達成すること

★◆ 幼児期から様々なスポーツを体験できる
◆ 子どもがトップスポーツ選手と交流できる

◆ すべての中学生が取り組みたいスポーツを行うことができる
・学校以外の場でも取り組みたいスポーツに取り組むことができる

●スポーツ環境の整備⇒現状に満足できていない

市内のスポーツ環境に満足していると回答した割合は非常に少なく、身近に気軽にスポーツを行える環境、快適に利用できる設備を整備してほしいという要望が多くある。

【市内でスポーツをおこなう環境に対する満足度】⇒非常に低い

▶市内でスポーツを「する」「学ぶ」「観る」環境について、満足していると回答した割合は、いずれも約25%以下であった。

	する	学ぶ	観る
満足度	25.2%	12.9%	16.7%

⇒不満な理由

施設が近くにない、少ない。情報不足。利便性が悪い。時間が合わない。設備不足、古い。料金が低い。

【日頃スポーツを行っている場所】⇒最寄りの公園や道路等

▶日頃スポーツを行っている場所は、最寄りの公園・広場などが40%近くあり、施設の利用は20%未満と少ない傾向である。また、行っていないと回答した人が25%（4分の1）近くいる。

市内公共スポーツ施設	市内学校	市内公共施設	市内民間スポーツ施設	市外スポーツ施設
13.9%	3.8%	8.1%	10.5%	7.8%
最寄りの公園・道路等	登山道	自宅	その他	行っていない
40.8%	9.2%	25.4%	8.1%	22.7%

【スポーツの観戦頻度】

⇒直接観戦が非常に少ない

▶スポーツ観戦の頻度については、最近1年間で直接観戦したことがある人の割合は20%にも満たない。また、市内で直接観戦したことがある人の割合は6%であり、非常に少ない。

⇒市内観戦をしない理由

直接観戦	市内観戦/全体	いつでも開催されているかわからない。観たいと思う競技がない。興味がない。
18.1%	6.0%	

次の5年間で達成すること

- ★ それぞれの取り組みにおいて適した指導者がいる
- ★◆ 相談できる環境が整っており、市民がそれを知っている
 - ・市民がスポーツできる場が確保されている
 - ・地域スポーツの課題が明らかになり、スポーツ推進委員と連携してそれらに取り組んでいる
 - ・スポーツ施設に関する計画に基づく施設の集約・複合化や既存施設の有効活用等が着実に実行されている
 - ・市民が施設にアクセスしやすくなる対策が研究されている
 - ・世代や地域を超えて交流できる場がある
 - ・市民が市内でスポーツ観戦をしている
 - ・「★」を推進する基盤体制がスポーツ協会にある

【過去2年間で使用した施設】⇒ユリックスが約30%

▶最近使用した施設については、性別年代別ともに宗像ユリックスが約30%（3人に1人）、ふれあいの森が約20%である。また、施設を利用したことがないという回答は、約40%もある。

	10~30代	40~50代	60代以上	男性	女性
市民体育館	12.6%	12.2%	7.1%	8.6%	12.4%
宗像ユリックス	38.1%	30.9%	30.0%	33.7%	31.3%
ふれあいの森	22.3%	14.9%	18.7%	21.0%	15.9%

【施設を利用しない(したことない)理由】 【スポーツ施設にとって重要なこと】

⇒身近に気軽に行えない

1	家や職場から遠い	21.6%
2	利用方法が分からない	21.0%
3	仲間がいない	20.4%
4	利用時間が合わない	17.0%

⇒身近に気軽に行える環境

1	施設や設備が整っている	57.2%
2	施設の使用料が適切である	52.5%
3	交通の便が良い	50.0%
4	施設の規模に適した駐車場がある	48.3%

▶スポーツ施設にとって重要と思うことでは、交通の便、施設設備、駐車場、使用料に関する回答が、50%近くある。

●情報発信⇒情報不足

関連団体や取り組み内容の認知度が低く、また、運動・スポーツに関する情報が少ないと感じている人が多い。

【関連団体の認知度】⇒6団体中3団体は25%以下

▶スポーツサポートセンター、南の郷クラブ、スポーツ協会の認知度は、25%以下である。

スポーツサポートセンター	9.4%	グローバルアリーナ	90.5%
南の郷クラブ	11.0%	ユリックス	92.4%
スポーツ協会	23.6%	アクアドーム	83.6%

【備品貸出サービスの認知度】

知っている利用したことある	4.8%
知っているが利用したことない	8.9%
知らない	86.3%

【運動・スポーツに関して欲しい情報】⇒身近な情報

▶欲しい情報については、市外イベント以外が20~30%あり、身近な情報を欲していることがうかがえる。

各種運動・スポーツ教室の案内	30.7%
宗像市内の運動・スポーツのイベント情報	30.8%
宗像市外の運動・スポーツのイベント情報	8.6%
クラブ・同好会などの活動案内	21.1%
スポーツ施設の案内	23.9%
新しいスポーツ、気軽にできる運動・スポーツなどの情報	29.2%

【情報不足との回答があった項目】⇒様々な項目で回答あり

スポーツに関する環境に不満がある理由
情報不足と回答した割合(行う環境:7.3%)(学ぶ環境:29.0%)(観る:15.4%)
もっと運動を行う(始める)ための条件
運動やスポーツに関する情報が容易に手に入れば(11.8%)
どのような環境を整えばスポーツクラブなどで活動したいと思えるか
活動内容、場所がわかれば。実施場所の案内があれば。活動内容の詳細がわかれば。情報が入れば。等
習い事を始めるうえで困っていること
教室がどこで実施されているかわからない(35.1%)
▶その他(情報が無い。やりたい種目の教室が市内で行われているか情報がわからない。ネットで調べないとわからない。等)
市内でスポーツ観戦をしない理由
スポーツ大会などがいつ、どこで開催されるのかわからない(74.2%)
備品貸出サービスを知っているが利用したことがない理由
使用方法がわからない(27.7%)使用できる場所がわからない(20.0%)借用方法がわからない(38.5%)

▶習い事を始めるうえで困っていることとして、実施されている場所がわからないとの回答が30%ある。また、市内でスポーツ観戦をしない理由では、70%以上が、大会がいつでも開催されているのかわからないとの回答である。

【情報収集の方法】⇒受動的な情報を望む

宗像市の広報紙	52.5%	宗像市の公式HP	10.7%
チラシ・ポスター	18.5%	宗像市の公式Instagram	2.6%
知り合いの口コミ	16.8%	宗像市の公式X	1.0%

▶情報収集の方法としては、市の広報紙が50%近くあり、近年の情報発信方法としてのホームページやSNSはほとんどない。インターネットやSNSなど受け手側が自ら収集する手段ではなく、紙媒体を通じて通知される情報を望んでいることが示唆される。

次の5年間で達成すること

- ★ 市民が次のサービスを知っている
 - ①施設で何ができるか
 - ②施設の使い方やルール
 - ③借りることができる道具や用具
- ・毎年、市広報紙で運動やスポーツの体験→教室(練習)→仲間づくり→成果発表の場(→観戦(見学))が情報発信されている
- ・「◆」の情報が発信されている
- ・発信した情報が市民のもとへ確実に届いている
- ・情報発信(蓄積)サイトが充実している
- ・宗像市のイベントが市外の人にも興味を持ってもらえている

第2期計画 施策の柱

1 スポーツ・運動を通じた市民健康活動の推進
 (1)市民エンジョイ・ウォーキング事業
 ①ウォーキングの普及、推進
 ②市民ウォーキング大会等の情報提供やコース整備の検討
 (2)大学、企業、地域等との連携による市民の健康活動の促進
 (3)市全域を対象とした総合型地域スポーツクラブの設立・運営

2 スポーツ・運動を通じたコミュニティ活動の活発化
 (1)コミュニティ・スポーツ交流事業
 (2)コミュニティ・スポーツ交流事業のサポート
 (3)コミュニティ対抗スポーツ大会の開催

3 子どものスポーツ機会の充実
 (1)スマイルキッズプログラム
 ①幼児期を対象とした支援
②小学生の体力向上支援 ⇒ 海洋性スポーツの展開
 ③中学校運動部活動の支援 ④社会体育等における活動の支援
 (2)スポーツ指導者体制の整備
 ①スポーツ指導者の育成及び活動支援
 ②異種目間のスポーツ指導者のネットワーク化
 ③小中一貫教育による体力向上に向けた教職員の共通理解

4 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
 (1)スポーツ未実施者等のライフステージに応じたスポーツ・運動プログラムの開発・実施
 ①親子や家族がともに参加できるスポーツ・運動プログラム
 ②20代、30代が参加できるスポーツ・運動プログラム
 ③全世代が参加できるウォーキング大会等の情報提供
 (2)コミュニティにおけるスポーツ・運動活動、健康づくりの支援
 (3)障がい者のスポーツ・運動活動の支援
 ①障がい者スポーツに触れる機会の提供
 ②障がい者スポーツ等の情報の提供 ③スポーツ・運動活動の支援

5 宗像市スポーツサポートセンターを活用し、住民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備
 (1)スポーツ資産の有効活用
 ①宗像市スポーツサポートセンターでのスポーツ資産情報の集約
 ②宗像市スポーツサポートセンターの機能の充実
 ③宗像市スポーツサポートセンターと宗像市スポーツ協会等との連携
 ④スポーツ推進委員との連携強化
⑤市内を本拠地とするトップチームの活用 ⇒ ラグビータウン関連事業の展開
(2)トップスポーツ試合の地元観戦機会の提供(観る) ⇒ プリンセス駅伝関連事業の展開
 (3)スポーツボランティアの活用・充実(支える)
 (4)トップアスリートとの交流事業の実施(交わる)

6 スポーツ観光による地域経済活性化 ⇒ 地域資源活用関連事業の展開
 (1)全国・九州レベルのスポーツ大会の誘致・開催支援
 (2)スポーツ合宿の誘致活動の支援
 ①合宿・研修会の誘致活動の支援
②「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」のキャンプ地受入 ⇒ ホスタウン交流事業の展開
 (3)宿泊や市内周遊につながるスポーツ大会の開催・支援
 (4)むなかたスポーツコミッション(仮称)の体制の確立

7 スポーツ活動の場の確保
 (1)既存の3つの市営体育館施設の運営
 (2)学校開放施設の運営
 (3)市内のスポーツ施設の活用
 (4)近隣市町のスポーツ施設の相互利用

8 中核拠点となる施設の再構築と整備
 (1)体育館施設の整備
 (2)屋外スポーツ関連施設の整備
 (3)民間スポーツ施設の活用
 (4)宗像ユリックスのスポーツ施設

第2期に引き続き取り組むこと

 ◆ 毎年、子どもたちに海に親しむ機会が提供されている ◆ プリンセス駅伝が継続されるよう支援を行っている
 ◆ ホスタウン交流による子どもの異文化交流ができています
 ◆ 世代ごとのラグビーを通じた交流やラグビーの試合、観戦の提供が行われている
 ・市内の民間スポーツ施設等のスポーツ資源が有効に活用されている